

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 旭川市教育委員会
2. 研究主題 : 魅力ある学校統合事例の創出
3. 研究タイトル : 学校統合を契機とした魅力的な学校づくり
～小中一貫コミュニティ・スクールの導入を通して
4. 研究課題 :
・統合される学校の保護者や地域住民等が、統合後の学校運営に参画するとともに、統合後の小学校が中学校とともに校区全体の地域コミュニティの核として機能するための体制整備～コミュニティ・スクールの導入
・社会教育や子育て支援事業等との連携も含め、保護者や地域の要望を踏まえた通学対策
・統合に伴う諸業務の計画的な実施と教育環境の整備
・統合を契機とした小中連携から一貫教育へのシフト
・統合各校の地域の人的・物的教育資源の活用による「特色ある教育活動」を最大限に生かした、地域との協働による「社会に開かれた教育課程」の実現（児童生徒が生き生きと学ぶ教育活動の充実）
5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

本市においても少子化や人口減少が進んできており、適切な学校規模を維持し、教育の質を確保するためには、今後、これまで以上に計画的に学校統合を進めていく必要がある。

本調査研究では、統合を契機とした計画的な教育環境の整備や保護者・地域の要望を踏まえた通学対策、小中一貫教育へのシフト、さらに、統合後の学校・地域の活動に対する支援を行い、魅力ある学校づくりの方策をまとめ、今後の本市における学校統合を計画的かつ効率的に進めるとともに、そのノウハウを広く周知し役立てることを目的とする。

(2) 調査研究の実施状況（平成30年度）

7月	○学校統合業務の洗い出しと整理（平成31年5月頃まで）
8月	○学校における備品等の現状把握 ○教職員のコミュニティ・スクール研修会（市教委主催）への参加
9月	○備品等の移動計画の作成
10月	○通学対策の検討
11月	○小小連携交流学习 ○通学対策の検討
12月	○学力ある学校づくり推進会議（通学対策に係る意見聴取） ○学校評価の活用に係る検討
1月	○千代ヶ岡小学校と西神楽小学校の交流事業 ○学校評価の活用に係る検討

2月	○千代ヶ岡小学校閉校式典 ○小小連携交流学习 ○スクールバス体験乗車会
3月	○魅力ある学校づくり推進フォーラム ○魅力ある学校づくり推進会議

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<p>○学校評価の評価指標の設定による可視化（平成30年度から31年度） ～特色のある魅力的な学校づくりのための学校評価等の活用 学校において特色のある魅力的な学校づくりに活かすために、全国学力・学習状況調査や学校評価を活用し、全国・全市的な状況と比較等できるよう可視化を図る。学校評価は各学校がその実情に応じて工夫しながら実施しているが、その観点には共通のものが多くあることから、各学校のアンケートを分類しまとめることとし、学校の負担とならない方法で、全市の状況を把握することとした。なお、第2期旭川市学校教育基本計画においても成果を把握するためにこの手法を活用することとしていることから、計画の始期である平成31年4月からこの取扱いを開始する。</p>
<p>○旭川市通学対策実施方針・要領の作成（平成30年度） 学校統合に伴う通学対策として効率的かつ適切なスクールバスの運行を行うため、これまでの運行状況等を踏まえ、通学距離要件や便数の上限を新たに定めるなど、運行要領について所要の改正を行い、今後もこの運行要領により通学対策を実施することとした。また、子どもたちが統合後も安心して通学できるよう、児童と保護者を対象としたスクールバスの体験乗車を実施した。</p>
<p>○備品等の利活用によるICT環境の第2期教育振興計画の目標実現や教材整備指針による教材整備など教育環境の整備（平成30年度から31年度） 備品等の教材を統合先の学校において活用し、教材整備指針やこれからの学習活動を支えるICT環境に基づく整備を目指し、各学校の教材を改めて整理し現状を把握した上で、年度末の備品移動を計画した。</p>
<p>○学校統合業務実施マニュアルの整備（平成30年度から31年度） 平成30年度は、関係学校及び教育委員会事務局の関係各課での業務の洗い出しを進めた。学校統合に関わっては、子どもたちが統合後も円滑に学校生活を送ることができるよう、小学校の交流学习を3回、冬休みに交流事業を1回実施した。</p>
<p>○コミュニティ・スクールの導入（平成31年度） 平成31年度の導入に向け、平成30年度は教職員がコミュニティ・スクールの研修に参加し制度の理解を推進したほか、児童生徒の交流などに取り組んだ。</p>
<p>○小中連携・一貫教育の取組 西神楽中学校、西神楽小学校及び千代ヶ岡小学校が連携し、9年間を見通した教育活動に取り組んだ。事業の概要は実践シートにまとめたほか、次年度に向けて、各種調査等の情報を小通連携一貫教育推進Noteにまとめた。</p>

(2) 成果物等

<p>○旭川市スクールバス・タクシー運行要領 ○旭川市小中連携・一貫教育推進プラン実践シート（西神楽中学校区）</p>

(3) 今後の取組予定

- 【円滑な学校統合】
- 子どもたちの環境変化への対応
必要に応じて、スクールカウンセラーの派遣等を実施する。
- 学校統合に伴う通学対策の適切な実施
必要に応じて子育て支援事業等との連携を図る。
- 統合される学校の備品等を活用した教育環境の整備
平成31年度は国が示す目標に達していない教材を中心に整備を行う。
- 学校統合業務のマニュアル化
- 【地域との協働による「社会に開かれた教育課程」の実現】
- 【小中一貫コミュニティ・スクールの導入】
- 平成32年1月のコミュニティ・スクール導入に向けた準備を進めるとともに、英語やプログラミングの小中交流など、更なる小中連携・一貫教育に取り組む。
- 特色のある魅力的な学校づくりのための学校評価等の活用
平成30年度の学校評価をとりまとめ、全市的な状況を把握するとともに、学校の教育活動に活かすことができるよう学校にフィードバックする。
- 地域学校協働活動の取組（学生ボランティア等の活用）
- 地域の人的・物的教育資源の活用による特色ある教育活動の実施